

第 22 回ベイタウン年男・年女撮影会 **今年は子年 2020**



重田 千陽さん、山口 奏さん (12 歳)



仲良しの 2 人組は美浜打瀬小 6 年生の重田 千陽さん (左) と山口 奏さん。スライム

作りが得意という重田さんは「昨年は新しい事に挑戦した 1 年でした。運動会の応援団の旗持ちに立候補して、重かったけど最後まで頑張りました。今年は中学生になるので勉強を頑張りたい」そうです。

一方小さい子の面倒を見るのが得意という山口さんは「去年は小学校生活最後だったので、6 年生として恥ずかしくない行動をすることができました。今年は中学生になるので、部活で新しいことをして沢山友達をつくりたいです」と語ってくれました。

ふたりとも応援しています。がんばってください。

鈴木 邦芳さん (84 歳)



鈴木邦芳さんは昭和 11 年生れで、今年 84 歳になられる、豊饒 (かくしゃく) という言葉がぴったりの紳士です。パティオス 11 番街に住んで 24 年です。

昨年はどんな年でしたかと質問すると、「令和になった、大変感慨深い年でした。というのも、私は昭和 31 年から皇宮警察で護衛官をしていたのです。勤め始めでまだ巡査だったとき、昭和天皇から天皇誕生日 (4 月 29 日、今の昭和の日) のお祝いの会に皇居でお言葉や歌をいただいたことは今でも忘れられません。現天皇のご誕生のときも赤坂で護衛官としておまもりしていました。ですから、ご即位のときは本当に特別な思いでした」と、答えられました。歴史の流れをその目で見てこられた邦芳さん、いつまでもお元気でいてくださいね。

市川 俊雄さん (72 歳)



ファーストウィングにお住まいの市川さんは、バラづくりとお城巡りが趣味です。マンションのガーデニングクラブでバラを育て、外周や中庭、テラスを飾っています。

写真を拝見しましたが、とても美しいバラでした。

昨年は (2019 年) は、一昨年 (2018 年) 生まれたお孫さんが月に 1、2 回やってくるのが何よりの楽しみだったそうです。「とてもかわいい」とにっこり。

今年は趣味の城巡りにも行きたいけれど、昨今のブームで多くの人が押しかけているのが少し残念とのこと。

市川さんは隣の街からベイタウンに引っ越してきたそうすが、その魅力を訪ねると「街並みですね」ときっぱり。お孫さんがもう少し大きくなると手を繋いで一緒に歩けますね。

ベイタウンで「ふたえにじ」の奇跡



昨年の12月3日。ベイタウンニュースの公式Facebookページにシータワー高層階にお住まいの方から「今朝の虹がとても綺麗だったので送ります」と写真の投稿がありました。

見ると早朝6:00頃の新都心の朝焼けの空に美しい虹がかかっている写真です。その後Facebookページには「私も見ました」と同じ虹の写真が何人もの方届きました。その数6人、10枚の写真です。うち1枚には「今回の虹はWレインボーでした。千葉幕張に来て20年来、出会ったことのない、奇跡の虹でした」とのメッセージがありました。

写真を見ると確かに虹は二重です。虹が出ていたのは6:00頃から25分ほどでしたが、二重になっていたのはそのうち始め

の10分ほどだけだったそうです。

またエリストの方からいただいた別の1枚にはこの二重虹（日本語では「ふたえにじ」というそうです）が建設中のベイパークエリアの超高層マンションとベイタウンの高層マンションの間にかかる橋のように



二重虹の全景（写真左）。二重だったのはわずか10分ほどのこと。ベイタウンとベイパークにかかる虹の橋（写真上）。

写っていて、さながら「ベイタウンとベイパークにかかる虹の橋」というタイトルでも付けたくるような1枚でした。

二重虹を見た人には幸運があるそうです。新年早々この写真を見た読者のみなさんにも幸運があることを祈ります。



コアポスト物語

昨年11月下旬、コア正面玄関横に赤い新品のポストが設置されました。もう、利用しましたか。街ができて20年以上たった今なぜ新設されたのか、そこにはちょっとした物語が…。美浜郵便局の職員の方と打瀬公民館の安齋館長にお話を聞きました。【小原】

きっかけは昨年4月、美浜郵便局に入づてでこんな質問が届いたことから。「コアに、ポストがあるといいなあ、という人がいるのですが、できませんかねえ」、こう願った人は、コアで開かれている絵手紙教室に通うあるおばあちゃんです。脚も弱くなり、日頃家に閉じこもりがちな生活の中、この絵手紙教室で絵を描いて人に送るのが楽しみなのだそうです。確かに自分の手でポストに投函するのは、即座に発着信できる電子メールとは違った、郵便でしか味わえない楽しみかもしれません。

といっても、一個人の思いつきのようなものでどこにでもポストが立つわけではありません。郵便局によると、①交通の要衝にあり、②近隣のポストからの距離があ

り、③利便性が見込まれる、という基準があるのだそうです。コアの周辺にはすでにベイタウン郵便局前とバレンタイン通り5番街前にポストがあります。しかし、コアがベイタウンで唯一住民が集う公共機関であり、毎日多くの利用者がいるということが決め手になりました。安齋館長によると利用者は、公民館として年間延べ約4万人、図書館で延べ15万人。また、コアは夜9時まで開館しており、安全面の利点もあります。

美浜郵便局によると、集荷はコース変更もせず今までのコースに少し足すだけなので、大きな負担は出なかったということです。

打瀬公民館には、「ポストができて良かつ

たね」「便利になったね」と利用者から好評の声が届いているようです。中には受付に「切手売っていませんか」と尋ねる方も。もちろん売ってはいません。

人が集いつながっていく場であるコアに、郵便という形で人と人を結びつけるポストができたことは、単に少し便利になったという以上の大きな変化を運んでくれるでしょう。



設置されたポストを囲んで。左から美浜郵便局の第一集配営業部の佐久間氏、山崎局長、安齋打瀬公民館長

打瀬中 EX 講座 「ベイトウンニュースに記事を書こう」

ベイトウンニュースは毎年打瀬中学校の EX 講座に参加し、地域の先生役で講座を担当しています。今年は 12 月 2 日（月）、3 日（火）の 2 日間。50 分授業の 4 コマをいただいて 1 年生 25 人に授業をしました。

毎年のことながら、教えるというより生徒達から教えられることの方がずっと多く、反省することしきりでしたが、それでも優秀な打瀬中の子どもたちに助けられてなんとか終えることができました。2 日間 200 分の講座の記録です。【松村】

昨年の EX 講座ではベイトウンに住む若手女性建築家の加治さんを招き、子どもたちが自分の職業選択や中学時代の過ごし方などを先輩から聞くというスタイルで行いました。加治さんは打瀬中の卒業生で子どもたちの先輩にあたります。年齢も近く、同じ中学の先輩ということで多くの刺激があったようで、講座としては大成功でした。

今年も柳の下のドジョウを狙って、同じスタイルで企画しました。今年招いたのは、打瀬中学校現校長の屋代先生、子どもたちの担任教師でもある鹿子島先生（女性）、そして地域の大人として 72 歳の黒澤氏の 3 人です。鹿子島先生は子どもたちと年齢的にも近く、友達感覚で気軽に学校生活を相談できる相手でもあります。

講座は 5 人を 1 グループとして 5 つのグループをつくり、それぞれのグループでインタビューしたい相手を 3 人の中から選び、インタビューして記事を書き、その後全員で他人の記事を校正して仕上げるという方法で進めました。

屋代校長先生には「どうして教師という職業をえらんだのか」などの質問が出ていました。生徒達からすれば日ごろ話す機会も

もしも教員になっていなかったら？

【1-A 小川遙】

みなさんは、もしも現在自分の職業についていなかったらどんな職業についていると思いますか？ 今回は「もしも教員になっていなかったら？」というテーマで、打瀬中学校の屋代健治校長先生にインタビューをしました。

校長先生は、公務員になっていたと思うそうです。そこでなぜ公務員になったのかと質問したところ、「上から上へと給料が上がっていくのが苦手だった」とおっしゃっていました。楽しく仕事に取り組みたいと思い、公務員になっていたかもしれないと答えてくださいました。

そして、校長先生は中学校で全ての教科をまんべんなく勉強すると、将来の仕事の視野を広められるので良いとおっしゃっていました。だから私も、今は沢山勉強して将来の仕事の視野を広めたいです。みなさんも、視野を広げると新しい発見が出来るかもしれません。

部活動をする意味とは

【1-D 高城璃々】

打瀬中学校のバスケットボール部の顧問でもある鹿子島先生に部活動をするものの意味についてインタビューをしてきました。先生は語れるものがあるということと、仲間が得られたという 2 つの事について話をしてくださいました。1 つ目の語れるものがあるという事は、先生自身が受験をするときにがんばったことなども語ることが出来て、とても人として強くなり、心の安心になったそうです。2 つ目の仲間が得られたという事は、部活のときに諦めずにいることが出来て、辛いときに一緒に乗り越えられたそうです。またその存在自体がとても良く、教師になった今でも応援してくださるそうです。

私はバスケットボール部に入っていますが、練習が多く、辛いときもあります。ですが、先生の言っていたとおり、人としても強くなれて、先輩や友達と短期間でも色々な事を一緒に乗り越えられたと思います。



少ない校長先生と少人数で直接話が聞けた良い機会だったようです。鹿子島先生には年齢的に近く、また毎日授業や部活で学校生活をともにする中での疑問や、悩み事を相談できる機会と考えたことが記事から伺えました。

地域の大人として招いた黒澤さんには長い人生を過ごしてきた智恵や考え方に生徒達の興味が湧くと思い、期待もしましたが、意外にもベイトウンの街のこと、良いところや悪いところなど「街づくり」についてのことに話題が集まっていました。

こんな風に生徒達が将来の職業のことや中学生生活のことなどで大人と接して刺激をうけてもらうというのがこの講座の大きなテーマで、去年はそれがうまくいったのだと思います。

今年はこのテーマに加えてもうひとつ大きな目標を立てました。昨年の講座では自分で書いたインタビュー記事について他人からの指摘を受け、自分では全く意図しなかった受け止め方を他人がしていることに驚き、校正の重要さと文章表現の難しさを痛感したという生徒がいました。

大人にインタビューして刺激を得ることと同時に、こんな技術的（？）なことに気付いてくれたと感じるのも講座を主催した側の大きな喜びだったので、今年の講座ではこの「他人にものを伝えることの難しさを実感する」ことをもう一つのテーマとして、記事の編集や校正作業にも多くの時間をとりました。

結果的には二兎を追うような欲張りの講座になりましたが、中学生たちはよく頑張りました。全員で評価しあった結果、3 人の記事を選び紹介しました。

先生をやっている中でのやりがい

【1-G 長谷川渚央】

今回、私は打瀬中学校社会科担当の鹿子島先生にインタビューをさせて頂きました。中学生の時にかけいい大人になりたいと思った先生。自分が大変だった中学生の時に会った「良い先生」を尊敬して中学校の先生になったそうです。そんな先生にインタビューしたのは「やりがい」についてです。先生は生徒達が社会をつくり上げていくことにたずさわれることや、授業の時などに新しい発見をしてくれることがうれしいとおっしゃっていました。そういったやりがいや、生活の中で見られる、明るく元気ではじけるような子供達の笑顔を見られることが、先生をやっている中での良いことだそうです。また、中学校では社会の基礎・基本をしっかりと学んでいくことが大切なことだとおっしゃっていました。

私は、今日の経験を通して中学校で学ぶべきことをしっかりと学び、先生のようなかけいい大人になりたいと思いました。



つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

電話 296-5100

【1月の主催講座の紹介】1月4日（土）9時受付開始！

その1：「冬のスキンケア方法と若返りメイク教室」

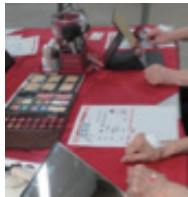
日時：1月22日（水）10：00～12：00

場所：打瀬公民館 講習室

講師：ヤクルト化粧品事業部のみなさん

対象：成人 女性（定員：先着20名）

費用：300円



その2：「シニア向け スマートフォン 教室」

日時：1月29日（水）14：00～16：00

場所：打瀬公民館 講習室

講師：KDDI（株）認定講師

対象：60歳以上でスマートフォンを持っていない方
（定員：先着20名）

費用：無料

2020 東京パラリンピック正式種目 「ボッチャ」体験会

どれだけ多くの球を目標の的（ジャックボール）に近づけられるかを競うボッチャ体験会を打瀬小アリーナで開きます。チーム戦（1チーム3人）は1エンド1人2球で合計6球。6エンドで勝敗を決める簡単なルールで、誰でも楽しめます。

主催：打瀬地区スポーツ振興会

日時：1月19日（日）14：00～16：00

会場：打瀬小学校 アリーナ

参加費：無料（身軽な服装でご参加ください）

ベイタウンニュースを配る人が足りません。助けてください。

ベイタウンニュースは毎月第1土曜日にみなさんのポストに配達されます。ベイタウンの全戸では合計で1万戸近くになります。ほとんどの番街では、ボランティアの方が自分のマンションの分を配布していますが、配布する方がいない番街もあります。そのときは他の方が助けあって配っています。

毎月第1土曜日の朝10：00から、ベイタウンコアの講習室で集まって配布しています。お手伝いいただければ助かります。毎月でなくても結構です。届け出もいりません。飛び込みでも結構です。

小学4年生以上なら1人でも大丈夫です。グループでも、子供を連れての参加も歓迎します。

ベイタウンニュースを助けてください。

TEL：043-211-6853、E-mail：mazmbtn@gmail.com（松村）

1月のコア・イベント

わくわくおはなし会 1月の常設おはなし会

日時：1月18日 第3土曜日 午前10：30～

場所：ベイタウン・コア講習室

今月は「おはなしパーティー！」わくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね** <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

◆お問合せ先◆ waku2book@gmail.com

【2月の主催講座の紹介】2月2日（日）9時受付開始

その1 文芸講座「近代文学を彩った女流作家たち②」（全2回）

日時：2月14日（金）、21日（金）

13：30～15：30

場所：打瀬公民館 講習室

費用：無料

講師：文芸評論家 鳥海宗一郎氏

対象：成人（先着30名）

その2 オリ・パラ「おもてなし英会話教室」（全2回）

日時：2月20日（木）、27日（木）

10：00～12：00

場所：打瀬公民館 講習室

費用：無料

講師：おもてなしキャラバン

目白大学准教授 吉田晴美先生

対象：成人（先着20名）



◇申込方法

直接打瀬公民館窓口または電話（296-5100）

受付・問い合わせ時間は9：00～17：00

キュービックカフェ1月・2月のイベント・ワークショップ

毎月9日はキュービックの日！
『キュービックマルシェ』開催



<1月> 1月9日（木）11時～

<2月> 2月8日（木）11時～（開催予定）

イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ

<https://www.cubic-cafe.com/>



1月のベイタウンかふえ

日時：1月8日（水）午後1：30～4：00

場所：地域連携センター（ベイタウン・コア横）

祝満3周年！前半はめずらし家芝楽師匠、百楽庵金一師匠をお迎えして「新春初笑い」です。後半は茶話会。ゲーム、ハンドマッサージもあります。今年も楽しいひとときをご一緒に。

認知症の不安に応える専門家が常駐しています。遠慮なくご相談下さい。

問合せ：うたせ認知症を考える会

中澤（TEL：211-0588）

第189回ファツィオリの会

日時：1月26日（日） 午前9：30～

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

受付締め切り：1月19日（日）

申込先：tohiyure41012@gmail.com（笠原）

寺子屋工作ランド

Myはしをつくらう（じぶんだけのおはしを竹でつくります）

日時：1月25日 第4土曜日 9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア工芸室

持ってくるもの：小刀（あれば）古タオル1枚（ひざあて）ごみぶくろ、てぶくろ

参加費：50円（保険料）